

平成26年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」取組成果概要
 【社会基盤分野(職域プロジェクト):平成24年～】
 「パッケージ型インフラ海外展開における中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト」(日本工学院専門学校)

課題・ニーズ・背景等

- 政府は成長戦略においてパッケージ型インフラの海外展開を進めている
 実行にあたり、2020年度までにインフラ輸出を現在の3倍の30兆円を目標としている。
- グローバル化対応の国内外の産学連携
 海外の職業教育機関との双方向交流、産学連携によるインターンシップ、留学生への支援。
 政府は2015年までにアジア地区で働く人材を1万6000人必要と試算、人材育成が急務。
- 建設業の人材不足が進んでいる
 技能労働者が408万人(平成4年)から335万人(平成24年)に減り、就業者の高齢化(34%が55歳以上)も進んでいる。

取組の概要

- ヒアリングの実施・解析
 - ・産業界の人材養成ニーズの把握
 - ・企業が求めている学習システムを調査
- 教育のしくみの検討
 - ・学習ユニット積み上げ方式の構築
 - ・「学び直し」のしくみの検討
- 学習基盤の整備
 - ・日本人が海外で働く場合の教育の実証
 - ・海外で外国人を教育する場合の教育の実証
 - ・日本で留学生を教育する場合の教育の実証
- 社会基盤への人材シフトを促進
 - ・海外で働きたい日本人、留学生および教育のデータベース構築のしくみの検討

成果目標

- 教育のしくみの開発
 円滑な人材シフトをバックアップするしくみを開発する
- 学習基盤の整備
 - ・カリキュラムの開発
 - ・達成度評価基準の開発
 - ・学習ユニットの開発
- オーダーメイド型実践的教育(企業向け)の共通科目の開発と実証
- 留学生優遇受入制度の創設

参加・協力機関等

- 教育機関
 日本工学院専門学校／
 日本工学院八王子専門学校／中央工学校／
 東海工業専門学校金山校／福岡建設専門学校
 東京都市大学／全国高等学校土木教育研究会
- 関係団体・企業
 株式会社大林組／株式会社熊谷組
 大成建設株式会社／徳倉建設株式会社
 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
 日揮株式会社／株式会社久米設計
 高砂熱学工業株式会社／
 財団法人日本国際協力センター
 財団法人中東協力センター

体制イメージ図

- 社会基盤分野
 産学官コンソーシアム
 職域プロジェクトとの連携をはかり、調整、評価、アドバイス、課題の抽出を行う
- ・人材養成における方向性の取りまとめ
- ・第三者評価の検討
- ・学習システムの検討

- 職域プロジェクト①
 ●次世代国内インフラおよび建設IT技術における中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト
- 職域プロジェクト②
 ●パッケージ型インフラ海外展開における中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト
- 職域プロジェクト③
 ●多摩地域 建設に係る地域版学び直しプログラム開発プロジェクト

平成26年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」 取組成果概要
【社会基盤分野(職域プロジェクト):平成24年～】
「パッケージ型インフラ海外展開における中核的専門人材養成プログラム開発プロジェクト」(日本工学院専門学校)

取組内容

①ヒアリング調査の内容・結果

企業が求めている社会人の学び方の調査

②企画・検討

モデル・カリキュラム、シラバス、学習指導計画表、達成度評価方法についてプロジェクト会議にて検討

③普及活動

・成果報告会の実施

インフラや海外展開関係企業200社、大学、専門学校、高専など教育機関300社へ成果報告会の案内発送

・成果報告書の配布

インフラ関係企業100社、大学、専門学校、高専など教育機関400社へ配布

・実証講座教科書の配布

インフラ関係企業100社、大学、専門学校、高専など教育機関400社へ配布

成果(アウトプット)

- ・全国版モデルカリキュラムの完成
- ・オーダーメイド型実践的職業教育(企業向け)の共通科目の開発と実証
 - ①企業における教育プログラムの概要および教育ニーズの把握
 - ②海外で働く日本人向けの共通プログラムの開発と実証
 - ③海外現地または日本で働く外国人向けの共通プログラムの開発と実証
- ・専門学校が日本企業と海外現地企業等を結びつける役割を担うことを想定したしくみの開発
 - ①日本人学生の海外インターンシップのしくみの検討
 - ②海外で働きたい日本人、留学生および教員のデータベース構築のしくみの検討
 - ③留学生優遇受入制度の創設および奨学金の充実の検討

成果の活用

【成果の活用】

- ・委託法人設置校の土木・造園科、建築学科、建築設計科の27年度の正規カリキュラムとして一部の科目について活用
- ・社会基盤分野の企業研修での活用が期待される

平成24年度

- ・スキルスタンダードの整理
- ・モデル・カリキュラムの基本構成を開発
- ・教育のしくみの検討

平成25年度

- ・達成度評価の開発
- ・モデル・カリキュラム、シラバスの開発
- ・「学び直し」コースの設定

平成26年度

- ・教育設計図の開発
- ・留学生優遇受入制度の創設など教育のしくみの一部試行